

2016年10月6日
AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

AIG がキッザニア東京の消防署パビリオンのオフィシャルスポンサーに ～グループ企業のアメリカンホーム・ダイレクトから引き継ぎ、内容を刷新～

日本における AIG グループ（AIG ジャパン・ホールディングス株式会社、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社など）は、これまでアメリカンホーム医療・損害保険株式会社（ブランド名：「アメリカンホーム・ダイレクト」）が 2006 年のキッザニア東京オープン以来 10 年間務めてきた消防署パビリオンのオフィシャルスポンサーを 2016 年 10 月 5 日より引き継ぎました。



スポンサー継承に際し、2016年8月26日に発表したAIGグループの新事業戦略コンセプト『ACTIVE CARE』*を消防署パビリオンの体験内容に盛り込むことで、これまでの消火活動に加え、その火災の原因を伝え、子ども達に火の恐ろしさと火災予防の大切さを伝える内容に変更します。

*『ACTIVE CARE』とは、AIG が誇る世界中で蓄積した知見や、リスクの認識および軽減につながる最新のテクノロジーを活用し、日常に潜むリスクを的確に把握し、そのリスクに備えるための支援を提供するものです。保険を提供する企業として、起きてしまった出来事への経済的な補償だけでなく、そもそも事故が起らないようにリスクを最小化する予防的サービスを、目に見えの分かりやすい形で積極的に提供し、保険をより身近なものへと変えていくことを目指します。（プレスリリース：[AIG グループ新事業戦略コンセプト『ACTIVE CARE』を展開](#)より抜粋）



モニターがパビリオン内に追加され、ACTIVE CARE の重要性を子ども達に伝えます。

また、パビリオンを体験した子ども達が持ち帰る成果物も同日に刷新し、夜道で車や自転車のライト等を反射して光るキーホルダーとなります。夜道で車と自転車に気を付けるようにというメッセージを添えており、火災だけでなく日常の様々なリスクを子ども達が認識し、リスクをマネジメントできるように促していきます。



キーホルダーと台紙に書かれた AIG からのメッセージ

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社で個人保険分野を統括するエグゼクティブ・コーポレート・オフィサーのクリスチャン・サンドリックは、「AIG はキッズニア東京のオフィシャルスポンサーとなることで、子ども達と保護者が日常生活の中でリスクを認識し事故を防いでいくことを、継続的に支援していくことができると考えています。このスポンサーシップは AIG が実施する ACTIVE CARE の取り組みの一つであり、私たちのグローバルな知見と専門知識を用い、日本をより安全な社会にしていくお手伝いをしたいと考えています。」と述べています。